

平成23年度 旭中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

人間尊重の精神を基盤に豊かな心と個性を持ち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる民主的な人間を育成する。

- 心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）
- 自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- 健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

○心身ともに健康な人間育成のため、「知・徳・体」の教育を調和的に展開する。
 ○全教職員が教育に携わる者としての自覚をもと、協力して生徒・保護者・地域社会から信頼される教育の推進に努める。
 ○多様な資質や生育暦をもつ生徒の存在を認識し、適正な生徒理解や明確な方針により、健全な社会生活を営むことのできる人間育成に努める。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- 豊かな人間性、社会性を育む教育を推進
 - ・ 学級経営の基盤となる教師と生徒の信頼関係の構築
 - ・ 生徒を生かす場を設定し、所属学級に一人一人が誇りをもてる学級づくりの推進
 - ・ 校舎内外に潤いある環境づくり
- 「確かな学力」を身に付けるための学習指導
 - ・ 基本的学習態度、学習内容の基本・基本の定着を図る指導
 - ・ 学ぶ喜びや達成感もてる授業展開の工夫
 - ・ 家庭と連携を図り、学習習慣の育成
- 健やかな心身を育てる教育の推進
 - ・ 健康・安全に関する基本的な生活習慣の確立
 - ・ 粘り強く取り組む身体活動の実践
 - ・ 家庭と連携を図った食育の充実
- 新たな教育課題への対応
 - ・ 特別支援教育への理解と支援
 - ・ 新学習指導要領の実施に向けた準備・小中一貫を視野に入れた小中の交流
 - ・ 学校マネジメントを生かした教育活動

4 今年度の重点目標（短期的視点）

- （学校運営） スローガン： チャレンジⅡ！（やってみよう・やらせてみよう）
 ：やってみよう（柔軟な考えと工夫）：やらせてみよう（活躍の場の設定）
- （児童生徒指導） ・ 規範意識と自尊感情を育てる生徒指導の推進
- （健康・体力） ・ 自己の体力向上を目指し、主体的に運動に取り組む生徒の育成
- （学習指導） ・ 基本的な学習態度を育成し、学ぶ楽しさを味わえる授業の工夫

5 自己評価（Aは共通評価指標，Bは学校独自評価指標）

（評価指標の【全】は，全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。【全】 【数値指標】肯定的評価80%	学校行事で生徒が意欲的・主体的に活動できる場と時間を計画的に確保する。	B	【達成状況】 ・「学校は活気があり」「教職員は誠実で熱心に」「教育課程は適切に」については、教職員・保護者・地域住民・生徒すべて肯定的評価が80%を超えている。 ・「生徒はきまりを守って」は平均では肯定的評価が80%を超えているが、生徒は78%である。
	A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。【全】 【数値指標】肯定的評価80%	生徒理解に努め、教師と生徒の人間関係を大切にしながら教育活動にあたる。	B	

<p>A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】肯定的評価80%</p> <p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】肯定的評価80%</p> <p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている。〔全〕 【数値指標】肯定的評価80%</p>	<p>5分前行動の徹底を図り、安全とゆとりのある行動が取れるようにさせる。</p> <p>① 授業の初めに明確な課題を提示すると共に、生徒の理解状況を確認しながら、分かる授業を目指す。</p> <p>① 生徒が生き生きと生活できるようにするため、各行事のバランスを図る。</p> <p>② 授業時間を確保するため授業交換などを積極的に行い、出張などでの自習を減らす。</p>	<p>B</p> <p>・「分かりやすい授業やきめ細かな指導」では保護者・地域住民の肯定的評価が70%程度で数値指標に及ばなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・教育全体の状況は、ほぼ80%を達成できているが、引続き生徒と教師の信頼関係を構築し、学校での生徒主体の活動の場と時間を確保する。</p> <p>・「生徒はきまりを守って」では、5分前行動、ノーチャイムデーなどの生徒会活動を助長し、生徒が達成感を味わい、生徒自らきまりを守ろうとする態度の育成を図る。</p> <p>・「わかる授業、きめ細かな指導」では、基礎的・基本的な内容や技能の確実な習得を徹底し、学ぶ喜びや達成感のもてる授業の工夫改善など、学習意欲向上を図る。</p>
<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】肯定的評価80%</p> <p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】肯定的評価80%</p> <p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】肯定的評価80%</p> <p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている。〔全〕 【数値指標】肯定的評価80%</p>	<p>家庭訪問や学校公開日の設定、各種だより、HPなどを利用して学校の情報を発信・提供する。</p> <p>学校・家庭・地域の連携を図るため、三地区における地区懇談会を実施し、積極的な意見交換を行う。</p> <p>① 教室や廊下の掲示物を計画的に整備すると共に、できるだけ多くの生徒の作品を掲示する。</p> <p>② 学習にふさわしい環境を作るため、清掃活動の充実を図る。</p> <p>教科ごとに教材研究会を開いて授業の工夫を図ると共に、授業を参観しあって指導力の向上に努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>・「学校の情報を積極的に発信・提供」「校内は学習しやすい環境」は、教職員・保護者・地域住民・生徒すべて肯定的評価が80%を超えている。</p> <p>・「学校・家庭・地域・企業連携」は、肯定的評価が平均で88%あったが、生徒は76%であった。また「教職員の保護者・地域住民との連携」は肯定的評価の平均が89%あったが保護者は76%であった。</p> <p>・「教職員の指導力向上に」は、保護者の肯定的評価が76%であった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・開かれた学校づくりのため、地域と共にある学校をめざし、継続して学校の情報発信はもちろん、地域協議会と協力し保護者・地域と連携を強化していく。学校環境も引続き、清掃活動の充実、計画的な掲示物展示を進める。</p> <p>・「学校・家庭・地域・企業連携」では、三地区懇談会の継続の他、地域教材・地域人材活用を教科・領域で実施する。</p> <p>・「教職員の指導力向上に」では、相互参観授業、教科部会研究会、小中一貫教育の充実を図り、さらに保護者への参観授業の啓発を行う。</p> <p>B</p>

教育活動の状況	<p>生活</p> <p>A10 自ら進んであいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。 〔全〕 【数値指標】 肯定的評価80%</p>	<p>生徒会、教職員、保護者が協力して、朝のあいさつ運動を実施する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつをしている」は、すべてにおいて肯定的評価が80%を超え、平均で91%であった。 ・「気持ちの良い言葉づかい」は、地域住民以外が80%に届かず、教職員・保護者は昨年度を上回ってはいるが、平均で74%であった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色である「あいさつ運動」は地域協議会の協力はもちろん、小学校との連携、道徳授業等で扱い、より一層、主体的にあいさつができるよう継続して推進する。 ・「きちんとした言葉づかい」では、全教科・領域で言語活動の充実を図り、きちんとした言葉づかいで生活ができるよう、さらに保護者との協力の下、援助・指導する。
	<p>健康・体力</p> <p>B1 心身の健康を図るため、積極的に部活動に参加している。 【数値指標】 肯定的評価80%</p>	<p>① 「給食だより」や保健・学級活動を通して、食の大切さを自覚させる。 ② 昼休みや部活動などで積極的に運動させる。</p> <p>① 各部の活動内容や取り組み状況を生徒会などで紹介する。 ② 魅力的な部活動にすることによって、加入率を高める。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝ごはんと栄養バランス」は教職員の肯定的評価が70%で、他は80%を超えている。 ・「生徒の積極的な運動」では生徒の肯定的評価が73%で、他は80%を超えている。 ・「積極的な部活動」は、平均の肯定的評価は85%であるが、地域住民で76%であった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「好き嫌いなく食事をしている」の質問では保護者・生徒の肯定的評価が80%を超えているが、給食では教職員が70%と大きな差がある。継続して「たより」等で食の大切さを啓発し、授業等で栄養バランスの大切さを指導し、給食では生徒会専門委員会活動の充実を図り、生徒自ら好き嫌いなく食べる習慣を培う。 ・「生徒の積極的な運動」「積極的な部活動」では校庭の広さ・図書館利用から考え、昼休等積極的な運動は生徒の73%は十分と判断できる。しかし部活動では主体的に参加活動できるよう認め励ます援助・指導を徹底する。 <p>B</p>

	<p>A12 授業に意欲的に参加し、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 肯定的評価80%</p>	<p>「学習の約束」を身に付けて、意欲的に授業に取り組ませる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒は積極的に授業に取組み」は、肯定的評価は平均で55%で、すべて80%には差が大きかった。 ・「生徒は落ち着いて学習している」は、教職員が86%、平均で73%であった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が授業に積極的に取組めるよう、基礎的・基本的内容を確実に身に付けさせ、学ぶ楽しさを味わわせる工夫を行う。また、小中一貫教育の実施に伴い、小学校との連携を密に学習指導の充実を図る。 ・生徒の学習態度については、他の意見をよく聞き、みんなの前でしっかり自分の発表ができるよう、引き続き基本的学習態度の育成、学習指導の工夫を行い、認め励ます援助・指導を徹底する。
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B2 美しく豊かな心を育成する。</p> <p>【数値指標】 肯定的評価80%</p>	<p>毎朝の読書の時間をとおして、読書の楽しさを味わわせると共に、物事を感じとる心を育てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝の読書」は、教職員・生徒の肯定的評価は80%を超えているが、平均が66%であった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民で「判断できない」が73%、保護者33%のため、学校公開日の参観を啓発していく。 ・あさの読書は言語活動の充実を図る上で、重要な時間であるため、継続してしっかりと取組めよう援助・指導していく。

〔総合的な評価〕

- ・教職員・保護者・地域住民・生徒のすべてにおいて肯定的評価は昨年度を上回ったが、「学校の積極的な情報発信・提供」と「生徒の学習態度」、「部活動参加」、「朝の読書」については、昨年度を下回っている。
 - ・学校の雰囲気や生徒の様子、教職員の指導には高い評価であったことで、保護者・地域から信頼される学校として見てもらえることは、より一層、生徒・保護者と信頼関係を構築し、生徒の居がいのある学校づくりに努力する励みとなります。
 - ・学校の学習環境や生徒のあいさつは昨年同様に数値指標を達成し、生徒会活動の環境美化、および生徒・PTAのあいさつ運動の成果が表れている。
 - ・教職員の指導力向上の取組みについては、昨年度と同じく保護者の肯定的評価が数値指標80%に若干足りない。市全体との比較では高いが、どうしても「判断できない」が16%いることが気がかりである。多くの保護者の方の授業参観を積極的に啓発していく必要がある。
 - ・生徒の授業への積極性については、昨年度と比較しても、市全体と比較しても、教職員・保護者・地域住民・生徒すべて肯定的評価が下回っている。学校では授業の工夫、言語活動の充実、話し合い活動の充実、個に応じた指導など具体策をもって取組む必要がある。
 - ・朝の読書については、教職員・生徒は80%を超えているが、保護者・地域住民の肯定的評価がかなり低いため、全体でも数値目標に大きな差がある。保護者・地域住民とも「判断できない」が多いことが原因にあると考えられる。授業参観の他、読書の時間も参観できる機会をつくる必要がある。
- しかし、「美しく豊かな心を育成する」評価指標は、朝の読書以外に文化祭・体育祭・地域でのボランティア活動などを実施しているので、主な具体的な取組やアンケート質問を変更し、視点を変えて評価をと考えている。

6 学校関係者評価

- ・旭中学校の生徒たちは、登下校の様子を見ていると、楽しそうにしているので、きっと学校が好きなのではないかと思います。
- ・中学生になると、小学生に比べ、あいさつが少なくなり、思春期でもあることから性格が変わると言われますので、あまりアンケートの数値にはこだわる必要はないと思う。
- ・教職員の指導力向上では、教職員の肯定的評価数値は80%よりももっと高い数値をつけていくらいだと思う。保護者の数値は「判断できない」があるので、実際は80%に達しているのではないか。
- ・生徒の授業への積極性は、質問内容で数値は変わると思うので、ポイントを絞って考察してはどうか。
- ・朝の読書の時間は、保護者、地域住民共に参観していないので、肯定的評価数値が低いのは仕方がないことではないか。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- ・全体的に肯定的評価は昨年度を上回り、我々教職員は居がいのある学校づくりへの励みとなった。しかし、さらに高い数値を目指し、努力を重ねていかなければならない。
- ・教職員の指導力向上については、実際はもっと高い数値であろうと言っただけではいるものの、保護者の数値指標80%以上を目指し、小中一貫教育の充実、教職員相互の授業参観の研修を通して指導方法の工夫・改善を図ります。また、多くの保護者に授業を見てもらえるよう啓発を強化し、「判断できない」を最小限に止めていきたい。
- ・生徒の授業への積極性については、質問を変えられないことから、数値指標を下げるなど対策は考えられるが、市全体の比較において肯定的評価数値が低いため、授業の工夫、言語活動の充実、小中一貫教育を通して個に応じた指導の充実などに徹底していきたい。
- ・「美しく豊かな心を育成する」の本校の特色・課題のところでは、学校行事への生徒の取り組み状況を聞く質問に変えて、アンケートを実施します。